



城でつながる 城でつながる

丸岡城サミット
3月18日(月)
9:00~11:30
(ハートピア春江大ホール)

丸岡城サミット
2024.03.18
9:00~11:30
ハートピア春江大ホール

参加校・学年
平章小学校5年生 丸岡南中学校2年生
長畝小学校3年生 丸岡南中学校1年生
高椋小学校3年生 丸岡高校地域協働部
鳴鹿小学校3年生
磯部小学校5年生
明章小学校4年生

第5回丸岡城サミットは、丸岡町内の7つのまちづくり協議会が共同で開催する事業です。

平章小学校5年生を対象とした「子ども歴史学習会」から発展した「丸岡城サミット」は、丸岡南中、丸岡高校、丸岡中、長畝小、高椋小、鳴鹿小、磯部小、明章小、へと広がって5年が経過。

丸岡城や地域の歴史・文化を題材にした授業、探究活動、学校行事の成果を発表し合う機会となっています。

小学4年生の社会科副読本「きょうどの歴史」には、～きょうどの歴史文化を守り伝える～という章で、坂井市から、丸岡城と三國祭りが取り上げられています。

丸岡城サミット

地域の宝である丸岡城にみんなで目を向け、ふるさと学習を深める取り組みとして、2019年に始まった丸岡城サミットは、今年で5回目を迎え、旧丸岡町内7つのまちづくり協議会の共同開催により、旧丸岡町内のすべての小中学校と丸岡高校が一堂に会し、ハートピア春江大ホールにて開催されました。

このサミットでは、各学校が丸岡城や地域の歴史・文化を題材にした授業、探究活動、学校行事の成果を発表し、互いに学び合いました。



発表はさまざまな教科や分野から丸岡城と地域に迫る内容となり、発表方法もプレゼン方式、劇クイズ形式など多彩なものとなりました。

参加者は学校関係で約240名、一般参加者およびスタッフで約200名でした。

発表内容

丸岡中学校2年生

「丸岡愛」をベースに創作劇とプレゼンを織り交ぜたユニークな発表で、劇は地元の良いところを再発見する物語でした。また、丸岡城だけでなく総合学習で調べてきた丸岡の歴史や企業など地元の自慢を次々と披露し、丸岡の良いところを改めて気づかされるものでした。

丸岡南中学校1年生

校外研修で永平寺町や越前市など県内の名所を回って学んだことをもとに、丸岡城や周辺でできる体験メニューやイベントを発表しました。プランとしては、城下町大茶会、合戦劇、そば祭り、ボンボリづくり体験などお年寄りから若者まで楽しめるもので、「丸岡城周辺地域の活性化のために、地元の人たちが歴史を継承し魅力を発信していこう」と呼びかけました。

平章小学校5年生

丸岡城のお膝元である地域に誇りを持ち、「平章ガイド」として取り組んできた城観光・文化・歴史・自然・祭り・食の7分野で展開してきた地域活性化活動について報告しました。そしてその中で「城をPRするパンフレットの作成」「歴史を伝える紙芝居作り」「郷土料理コンテストへ出品など実現してきたアイデアを紹介しました。

長畝小学校3年生

長畝小学校はインフルエンザの影響で、あらかじめ録画したビデオで発表しました。これからの丸岡城をテーマとして新たな魅力づくりとして4つのアイデア「宣伝」「キャラクタークイズ」「スタンプラリー」「クイズ」をフットフレームについて発表。中でも丸岡城の新しい名物として「お守りのガチャガチャ」海外の人向けの英語の「カレンダー」などを披露しました。

高椋小学校3年生

過去や未来の丸岡城にタイムスリップする創作劇と学校の創立150周年記念ソング「未来への絆」を披露する演奏、合唱班はいつまでも故郷を慕い続ける思いを表現するなど盛りだくさんの発表でした。とりわけ「筆啓上」にちなみ短冊手紙を読み、シーンは圧巻で、また魅力アップに取り組み現在のイベントや未来への展望も紹介しました。

磯部小学校5年生

なぜ丸岡のこの地に城が建てられたのか、ということと地政学の視点からアプローチしました。「越前国の最大の敵は加賀国」という状況を考慮し、坂井市・あわら市の地図を広げて創建の候補地を挙げ、それぞれのメリット、デメリットを比較考察しました。最終的に出した結論は、柴田勝豊が考えた現在の場所と同じになり、丸岡城の現在の位置は、当時のメトリックで十分考察した上で選ばれたということが分かりました。

明章小学校4年生

校外研修などで発見した自然、食、学校、歴史の4つの「地域の自慢」について発表。食グループは郷土料理の「こんぼ汁」を取り上げ、暮らしに根付いた知恵や工夫を伝えた。歴史グループは高向神社を取り上げ、神社にまつわる継体天皇や母の振媛に関する歴史や地域とのゆかりをクイズで発表しました。

鳴鹿小学校3年生

ふるさと学習に取り組んできた成果として、地域の「五つの宝」「六呂瀬山古墳」施設「二九頭竜川」鳴鹿大堰「自然生き物・総合学習」に歴史を盛り込んで「鳴鹿ってこんなところ」として発表しました。六呂瀬山古墳は、造成された年や継体天皇の母、振媛との関係性などの歴史的な視点に加え、26年前に大勢の市民が参加したイベント「石運び」についても紹介しました。

丸岡高校地域協働部

日本最大級の城イベント「お城キスボ」に参加し、パンフレット配布や鎧の着付け体験、丸岡城クイズを通して丸岡城をPRしたことを披露。さらに城下町マップの作成やイベントのサポートなど高校生視点から地域の魅力を伝える活動をしていることを発表しました。また、丸岡城の歴史や特徴を学ぶクイズを出題し、会場を盛り上げました。

丸岡中学校2年生

「時代をこえてつながる丸岡愛」



丸岡南中学校1年生

「丸岡城の魅力発信」



平章小学校5年生

「平章PRIDE」



長畝小学校3年生

「これからの丸岡城」



高椋小学校3年生

「バトンをつなぐ」



磯部小学校5年生

「丸岡城の地政学」



明章小学校4年生

「知って!来て!たかとり豊かな宝」



鳴鹿小学校3年生

「鳴鹿ってこんなところ」



丸岡高校地域協働部

「丸岡城クイズ」



丸岡城調査研究アドバイザー 牧野行治氏



今回は旧丸岡町内のすべての学校が参加し、素晴らしい発表を聞かせていただきました。

「丸岡城がどうしてここに建てられたのか」という面白い視点からの発表もあり、また丸岡城だけではなく、地域の歴史やお宝の発表もあり、新しいサミットの方向性が示されたように思います。

これからはアプリを見ながらまち歩きをし、城郭や堀について調べていくのも良い方法だと思います。

丸岡城サミットが今後もレベルアップしていくのを楽しみにしています。

